

FormPat 5

環境設定ガイド（補足）

Windows Server 2012 R2 および 2012

2017/05/12

Digital Assist

Copyright(C) 2017 Digital Assist Corporation. All rights reserved.

目次

目次	2
はじめに	3
IIS のインストール	4
FormPat 承認期限監視サービスオプションのインストール	11
IIS の設定	12
統合 Windows 認証について	20

はじめに

本書では、「FormPat 5 環境設定ガイド」の「IIS のインストール」、「IIS の設定」、「統合 Windows 認証について」について Windows Server 2012 R2 および Windows Server 2012 を対象に補足説明します。

本書は、FormPat Ver.5.1.0.0 以降を対象としています。

本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標です。

IIS のインストール

本章では、Windows Server 2012 R2 および Windows Server 2012 について記述します。

IIS(インターネット インフォメーション サービス)のインストールを行います。既に IIS の環境が整っている場合は、次章へ進んでください。

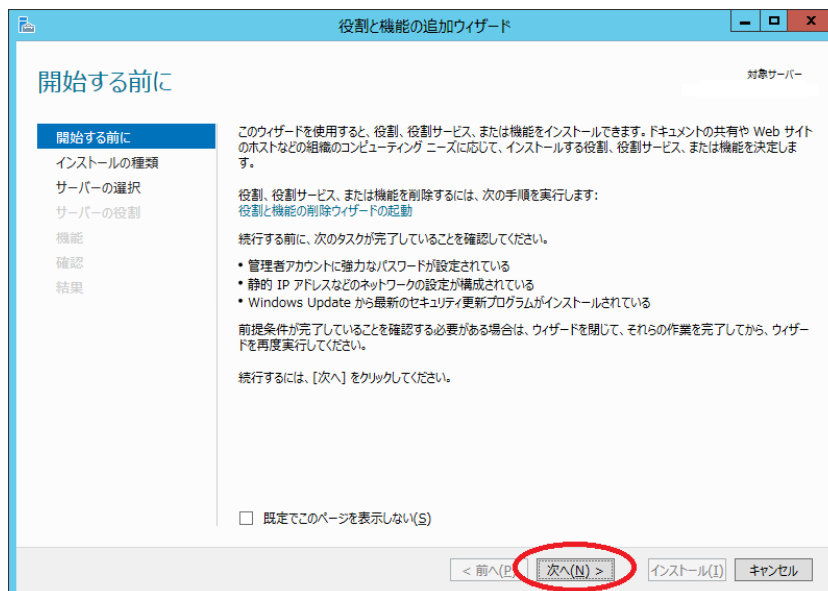
※Windows Server 2012 R2 および Windows Server 2012 は標準でインストールされています。

1. [サーバー マネージャー]を起動します。

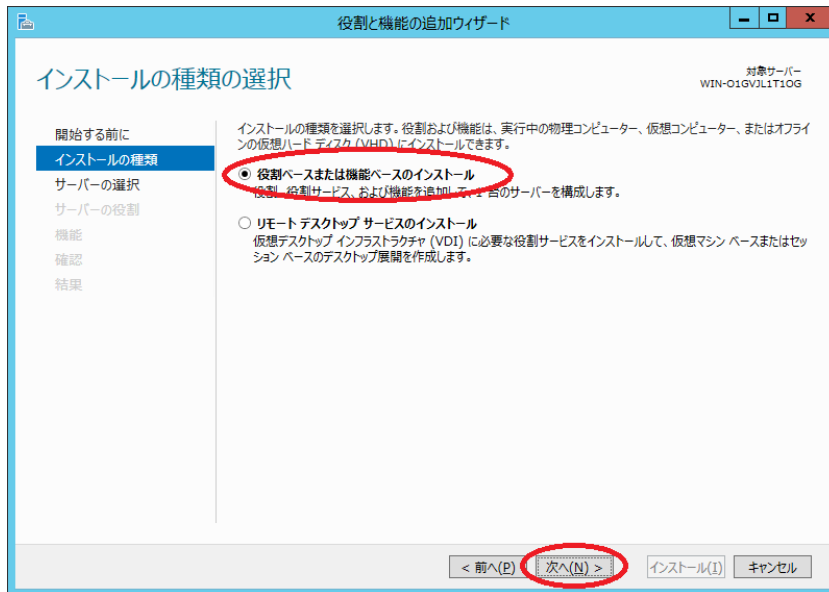
サーバーマネージャーでは、[役割と機能の追加]をクリックします。



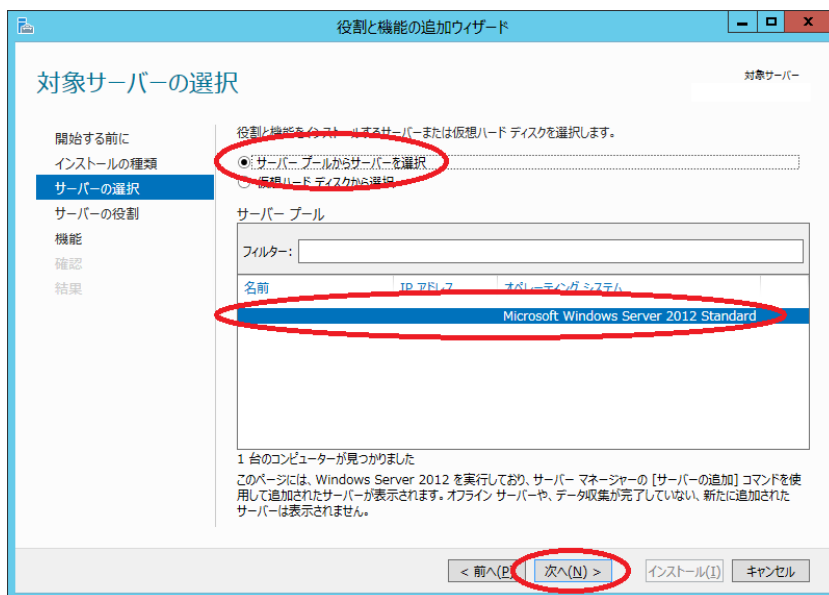
2. 開始する前にでは、[次へ>]をクリックします。



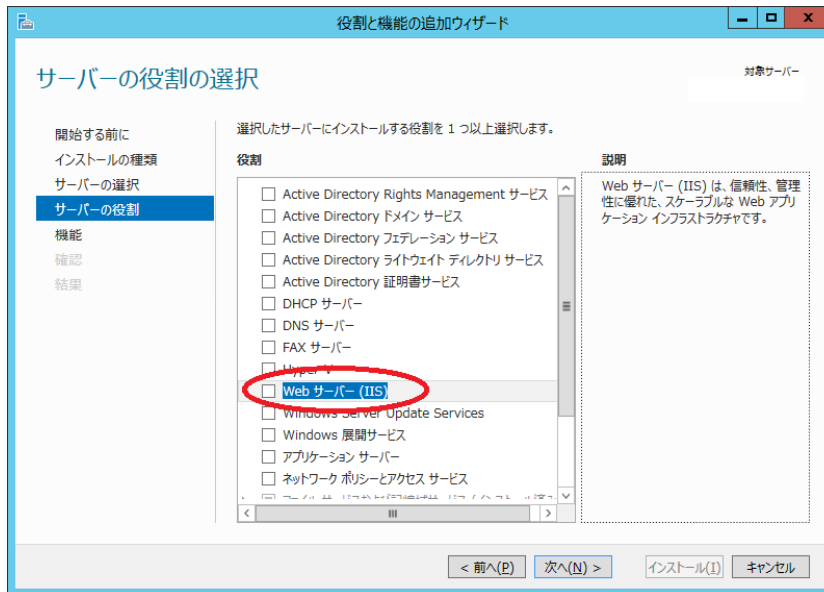
3. インストールの種類の選択では、[役割ベースまたは機能ベースのインストール]を選択し、[次へ]をクリックします。



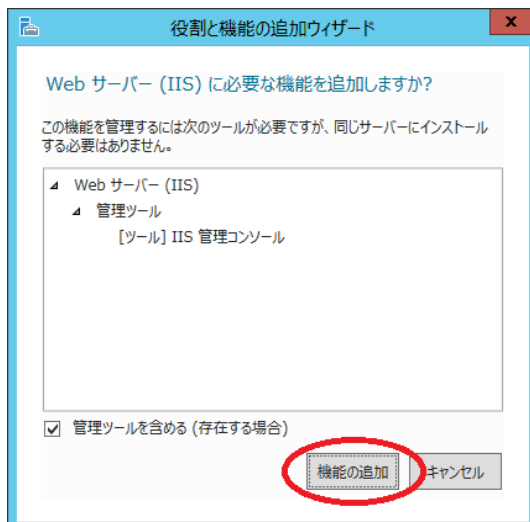
4. 対象サーバーの選択では、[サーバー プールからサーバーを選択]を選択、該当サーバーを選択し、[次へ]をクリックします。



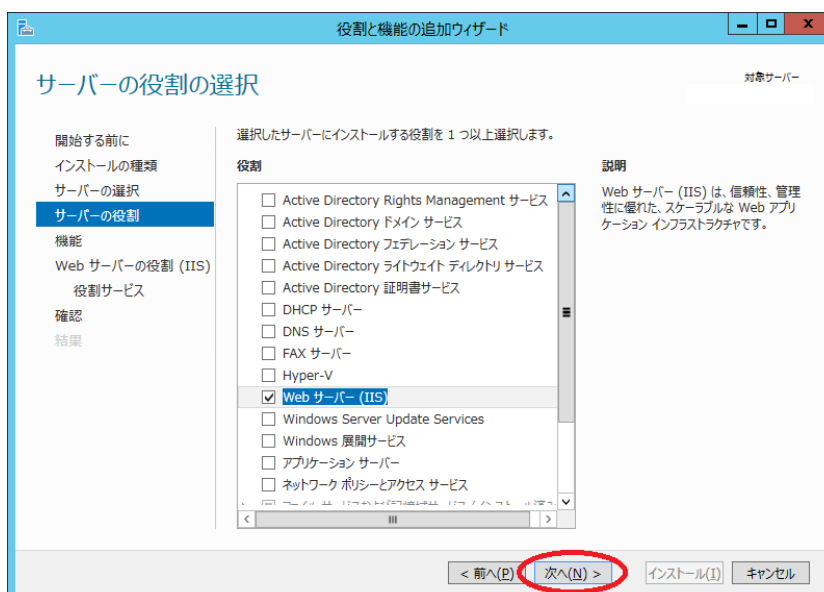
5. サーバーの役割の選択では、[Web サーバー(IIS)]を選択します。



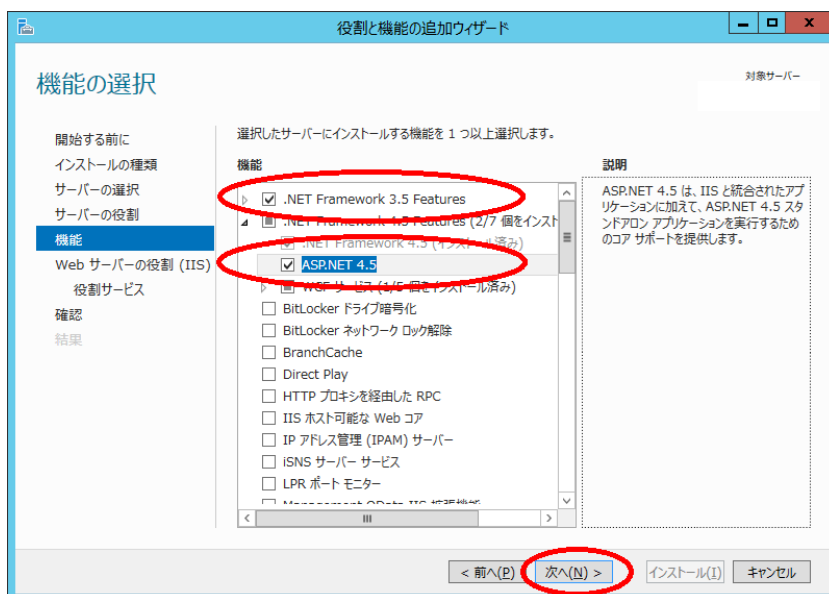
6. ポップアップ画面では、[機能の追加]をクリックします。



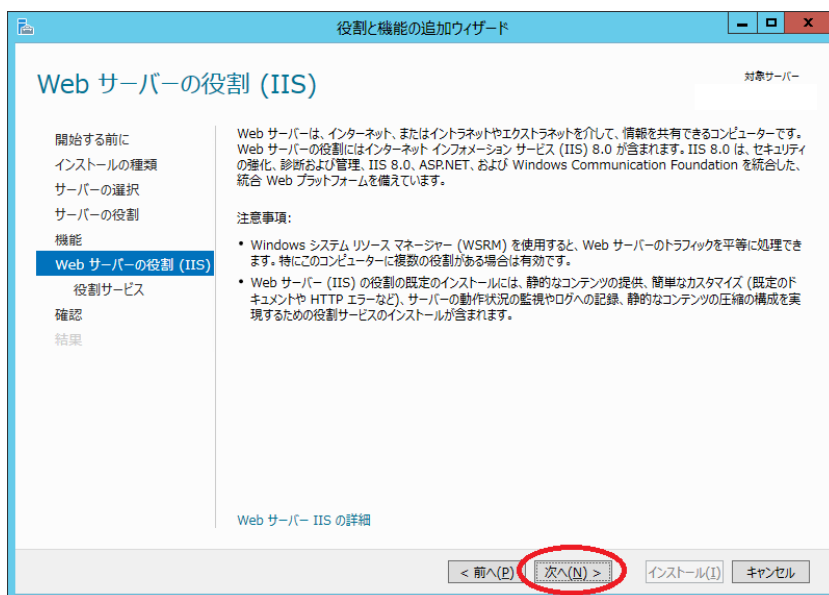
7. サーバーの役割の選択に戻ると、[次へ>]をクリックします。



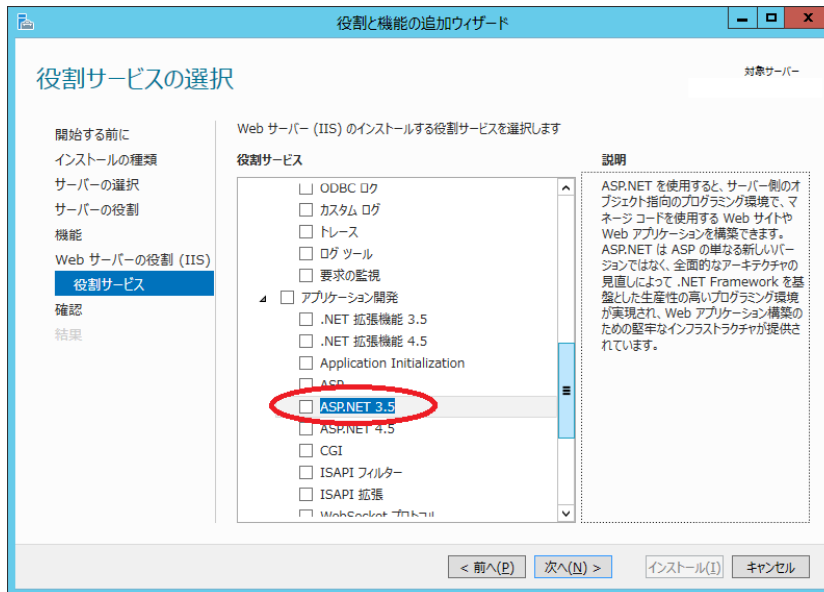
8. 機能の選択では、[.NET Framework 3.5 Features]を選択、および[.NET Framework 4.5 Features]を展開、[ASP.NET 4.5]を選択後、[次へ]をクリックします。



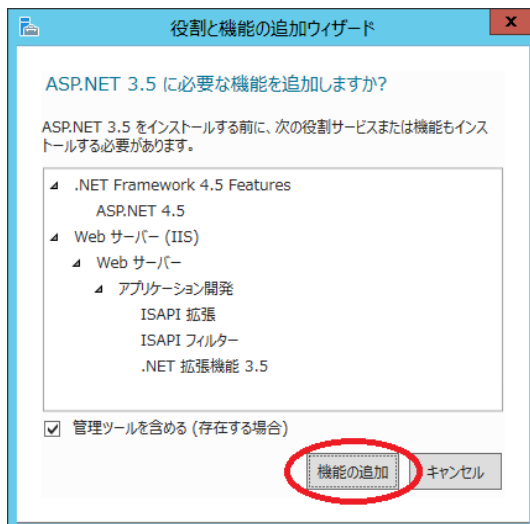
9. Web サーバーの役割(IIS)では、[次へ]をクリックします。



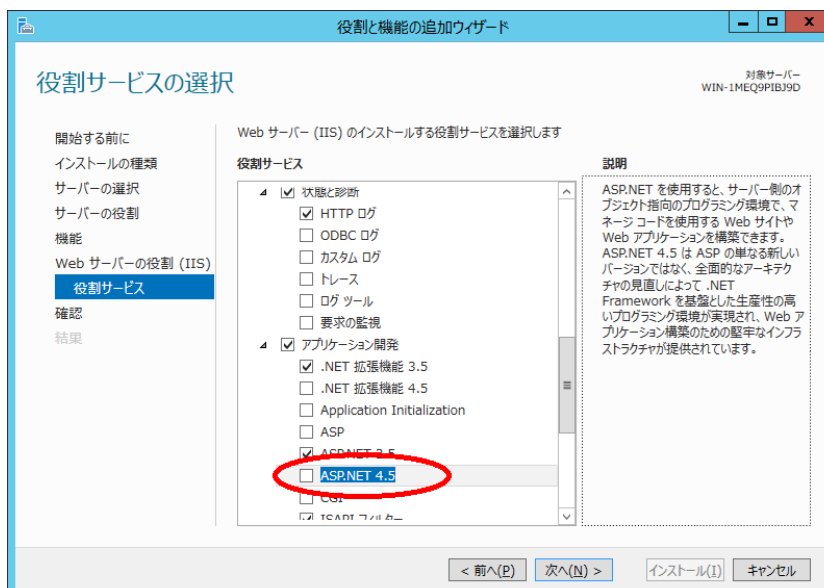
10. 役割サービスの選択では、[アプリケーション開発]を展開、[ASP.NET 3.5]を選択します。



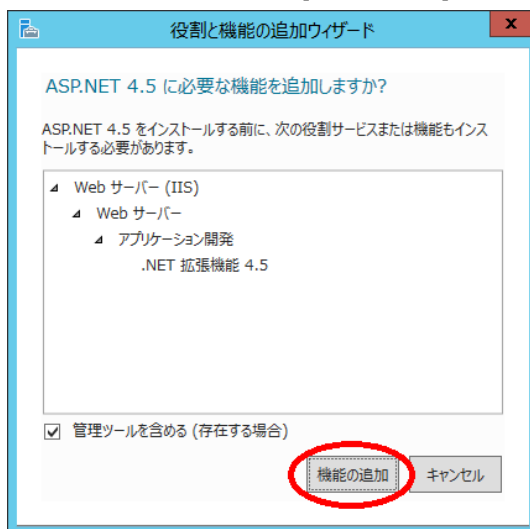
11. ポップアップ画面では、[機能の追加]をクリックします。



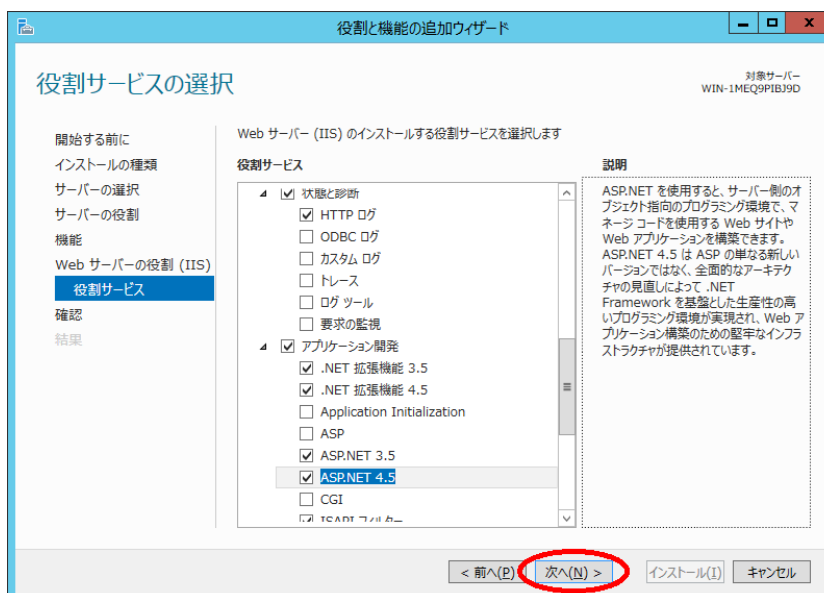
12. 続けて、同じく[アプリケーション開発]から[ASP.NET 4.5]を選択します。



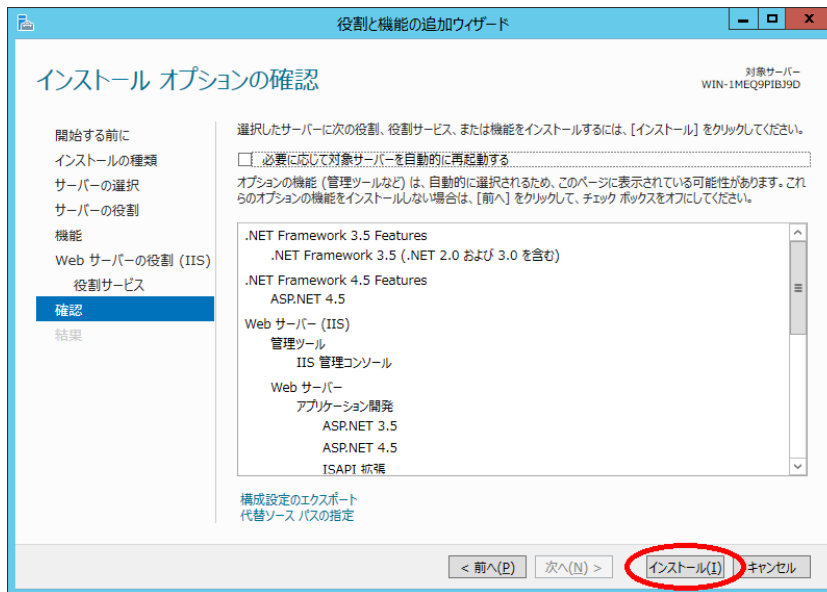
13. ポップアップ画面では、[機能の追加]をクリックします。



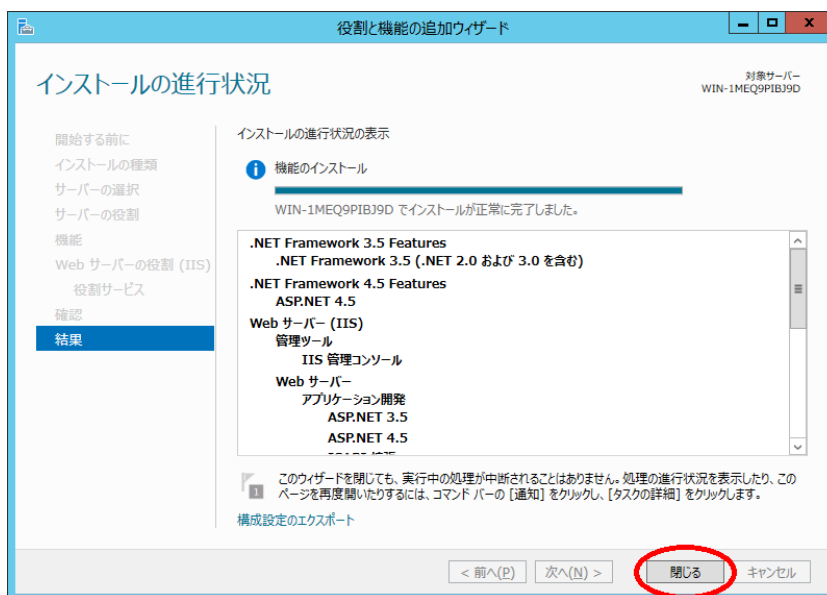
14. 役割サービスの選択に戻ると、[次へ]をクリックします。



15. インストールオプションの確認では、[インストール]をクリックします。



16. インストールの進行状況でインストールの完了を確認し、[閉じる]をクリックして終了します。



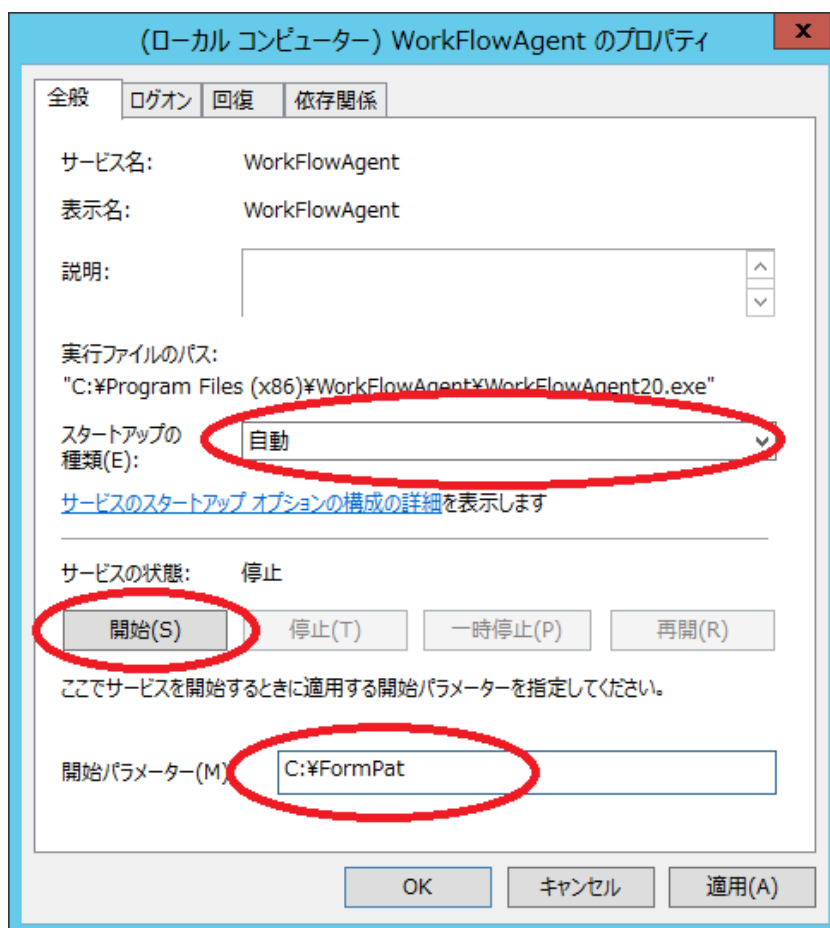
17. [サーバーマネージャー]を終了します。

FormPat 承認期限監視サービスオプションのインストール

承認期限監視サービスは、オプションソフトウェアです。

オプション契約されていない場合は、必要ありません。

1. Digital Assist のホームページより「承認期限監視サービス」WorkFlowAgent_xxxx.zip (xxxx はバージョン)をダウンロードします。
2. WorkFlowAgent_xxxx.zip を任意のフォルダに解凍します。
3. 解凍後の WorkFlowAgent_xxxx.msi をダブルクリックして実行します。
4. インストーラーに従い、デフォルトのフォルダにインストールします。
5. [管理者ツール]から[サービス]を起動します。
6. サービスでは、WorkFlowAgent を選択後、[操作]→[プロパティ]を選択します。
7. WorkFlowAgent のプロパティでは、[スタートアップの種類]に[自動]を選択、[開始パラメータ]に FormPat フォルダ(C:¥FormPat)を入力し、[開始]をクリックします。

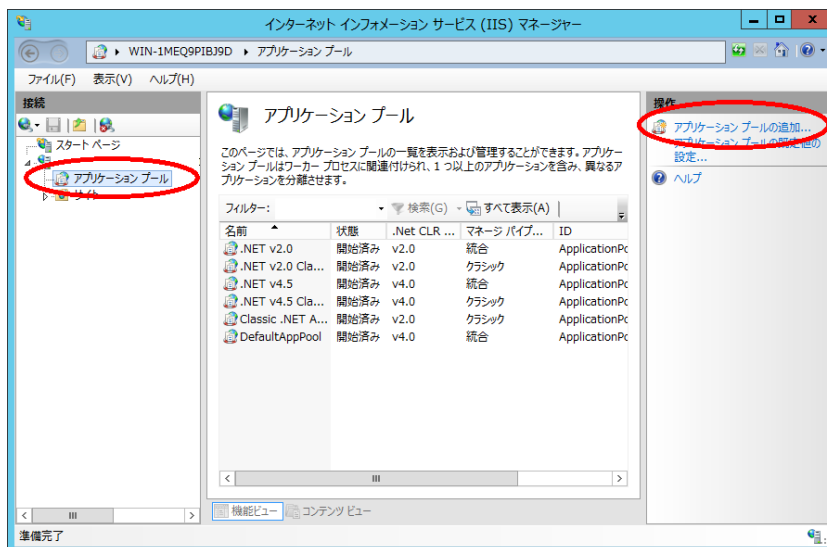


8. サービス開始後、[OK]をクリックします。
9. [サービス]を終了します。

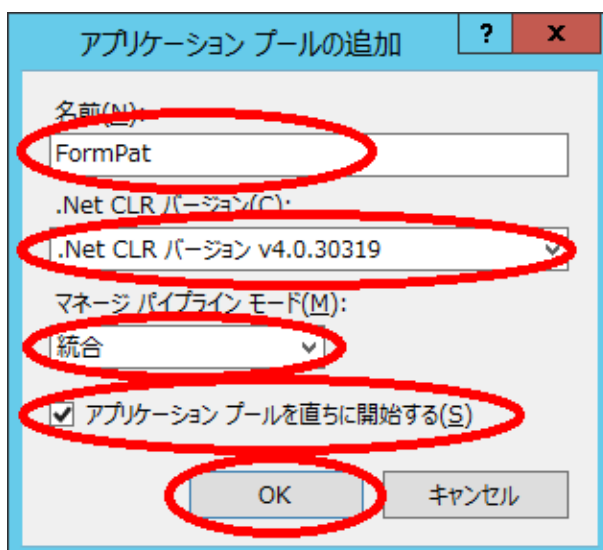
IIS の設定

本章では、Windows Server 2012 R2 および Windows Server 2012 について記述します。

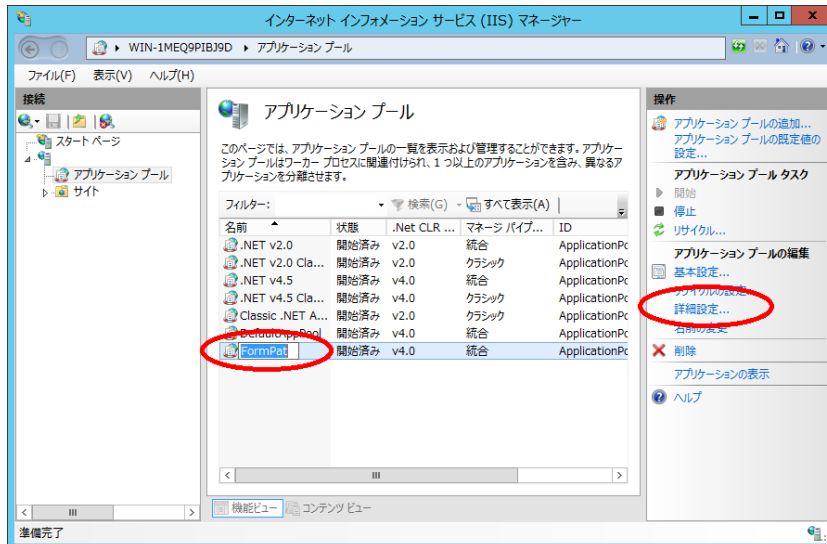
1. [インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー]を起動します。
起動時、「最新の Web Platform コンポーネントとの接続を維持するため、Microsoft Web Platform の使用を開始しますか？」とメッセージが表示された場合、[いいえ]を選択します。
2. インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャーでは、左ペインの[アプリケーションプール]を選択し、[アプリケーションプールの追加...]を選択します。



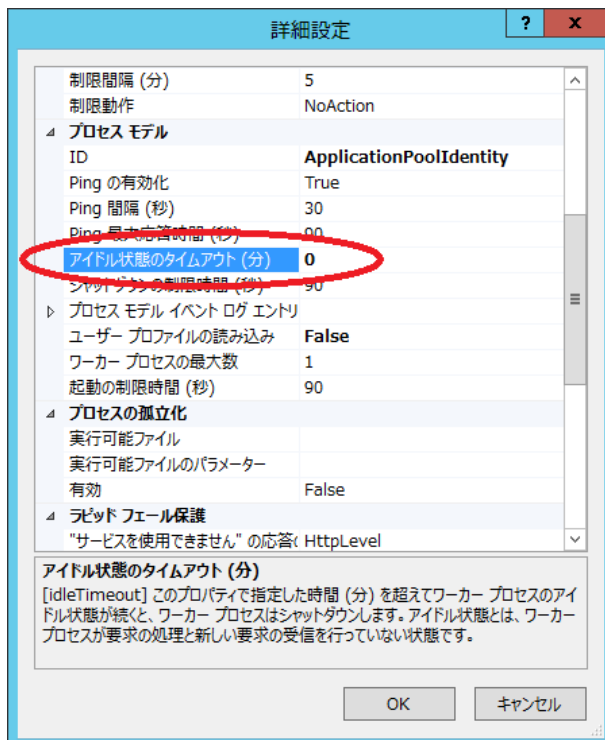
3. アプリケーションプールの追加では、名前に FormPat と入力、.Net CLR バージョンに [.Net CLR バージョン v4.0.30319]を選択、マネージパイプラインモードに[統合]を選択、アプリケーションプールを直ちに開始するにチェックが入っていることを確認後、[OK]をクリックします。



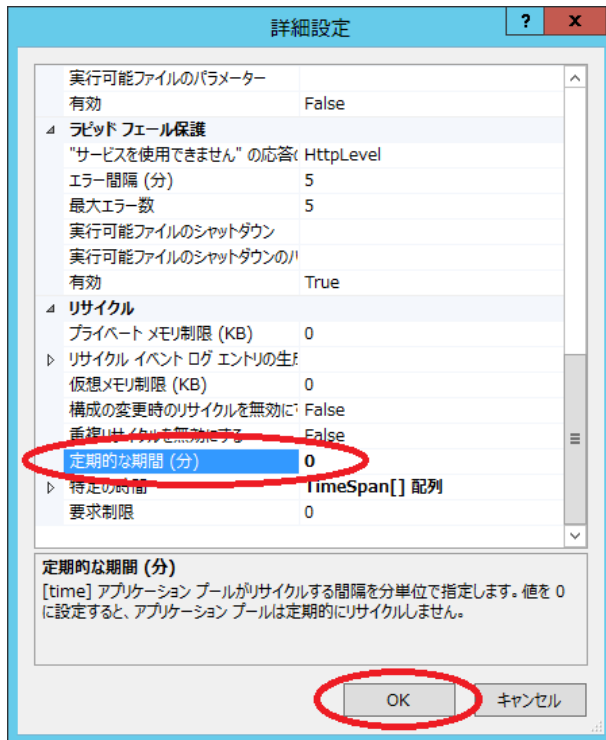
4. アプリケーションプールから[FormPat]を選択、 [詳細設定...]をクリックします。



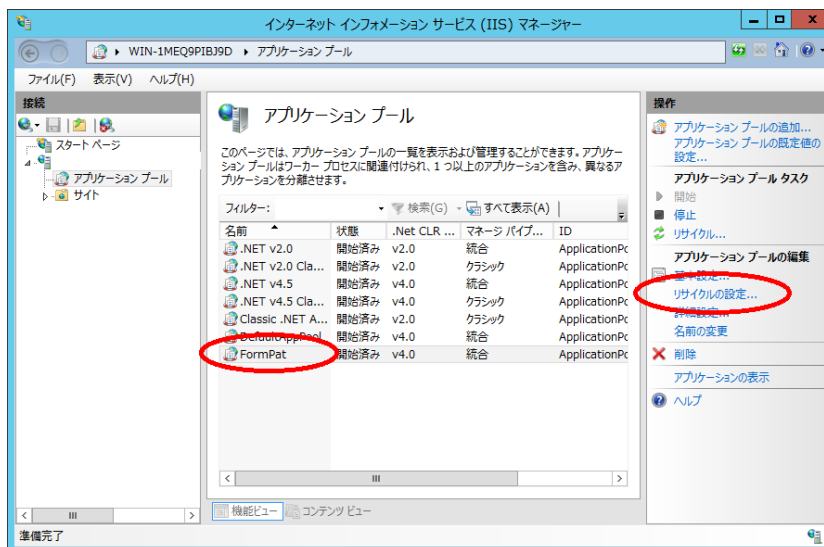
5. 詳細設定では、[アイドル状態のタイムアウト]を 0 へ変更。



6. 続けて、[定期的な期間]を 0 に変更し、[OK]をクリックします。



7. 8.～10.は FormPat をより安定稼働させるために可能なら設定してください。
インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャーの[FormPat]が選択された状態で[リサイクルの設定...]をクリックします。



8. アプリケーションプールのリサイクル設定の編集では、[特定の時間]をチェックし、サーバーが作動中で FormPat を利用しない時刻を入力後、[次へ]をクリックします。

アプリケーション プールのリサイクル設定の編集

リサイクル条件

一定間隔

☐ 定期的な期間 (分)(I): ☐ 一定の要求数(R):

☒ 特定の時間(S):

例: 20:00,0:00

メモリの最大値

☐ 仮想メモリ使用量 (KB)(V): ☐ プライベート メモリ使用量 (KB)(M):

前に戻る(P) **次へ(N)** 終了(E) キャンセル

9. アプリケーションプールのリサイクル設定の編集の次の画面では、[終了]をクリックします。

アプリケーション プールのリサイクル設定の編集

ログを記録するリサイクル イベント

アプリケーション プールのリサイクル時に、イベント ログ エントリを作成できます。このログを記録するリサイクル イベントを選択します。

構成可能なリサイクル イベント:

☒ 定期的な期間(I) ☐ スケジュールされた時刻(S)

☒ 仮想メモリ使用量(V) ☒ プライベート メモリ使用量(P)

☐ 要求数(R)

ランタイム リサイクル イベント:

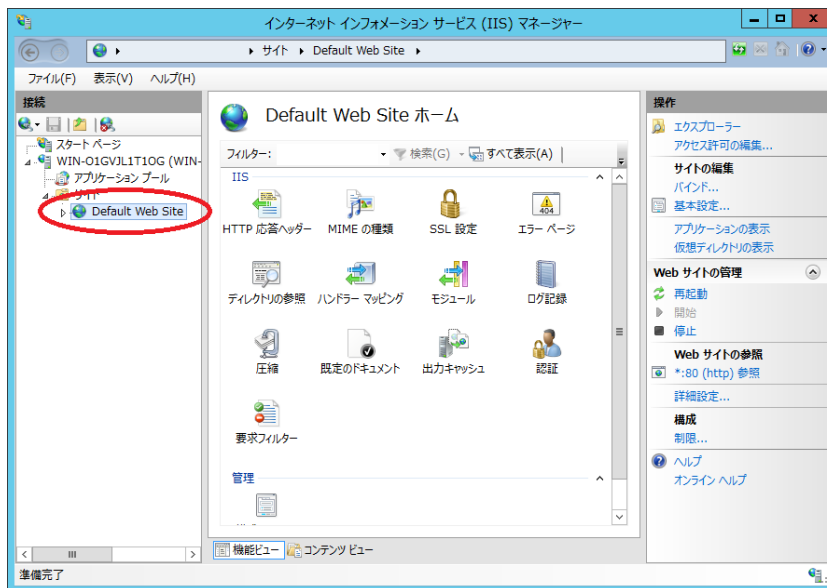
☐ オンデマンド(D)

☐ 構成の変更(C)

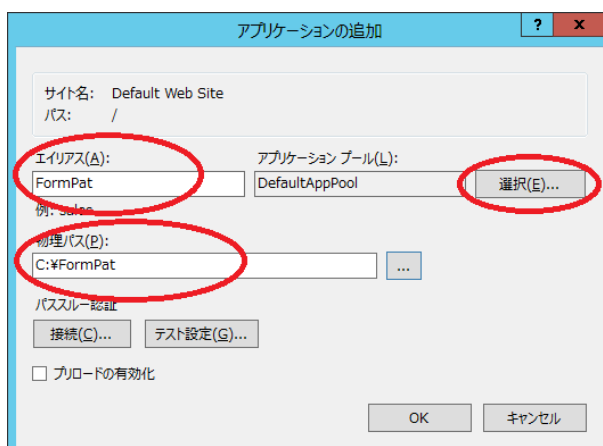
☐ 問題のある ISAPI(A)

前に戻る(P) 次へ(N) **終了(E)** キャンセル

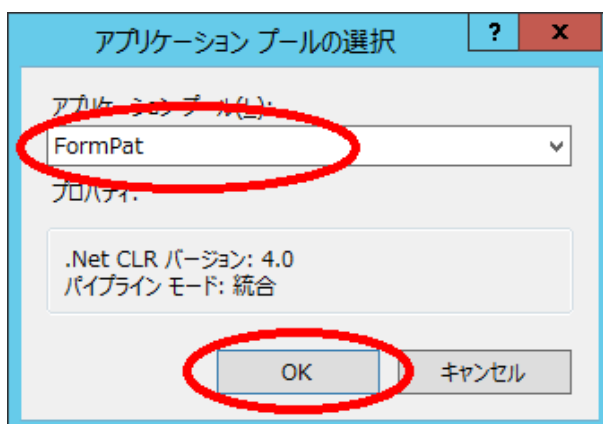
10. インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャーの左ペインの[サイト]を展開し、[Default Web Site]を右クリックし、[アプリケーションの追加]を選択します。



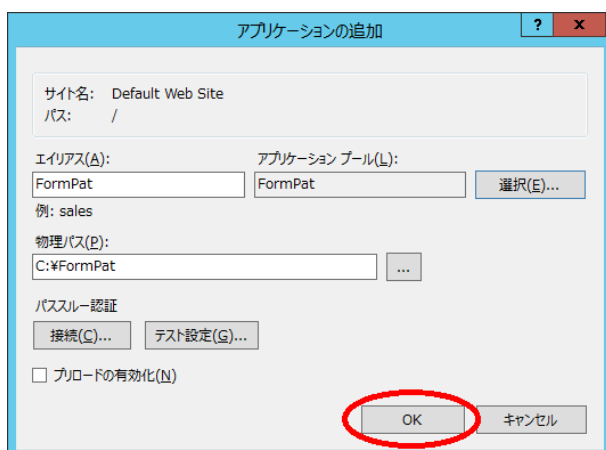
11. アプリケーションの追加では、エイリアスに FormPat 、物理パスに C:\FormPat と入力し、[選択...]をクリックします。



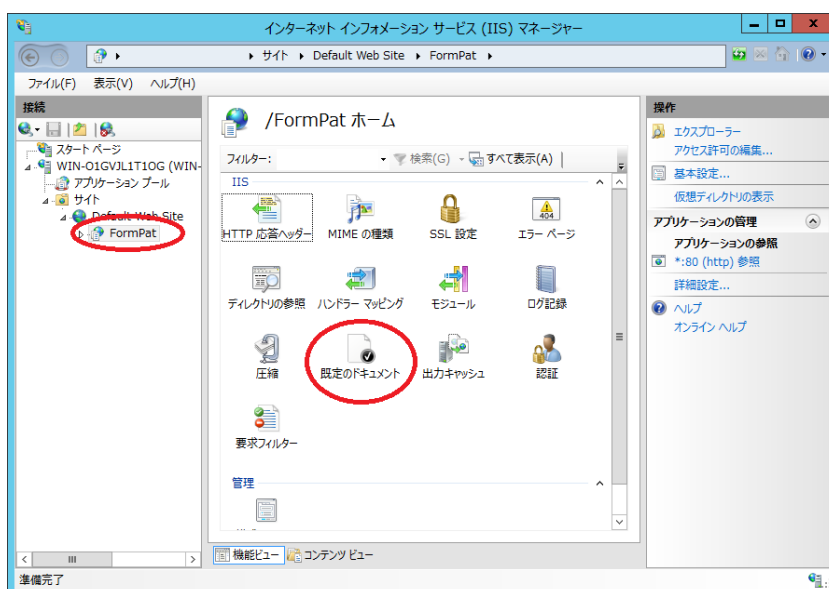
12. アプリケーションプールの選択では、アプリケーションプールに[FormPat]を選択し、[OK]をクリックします。



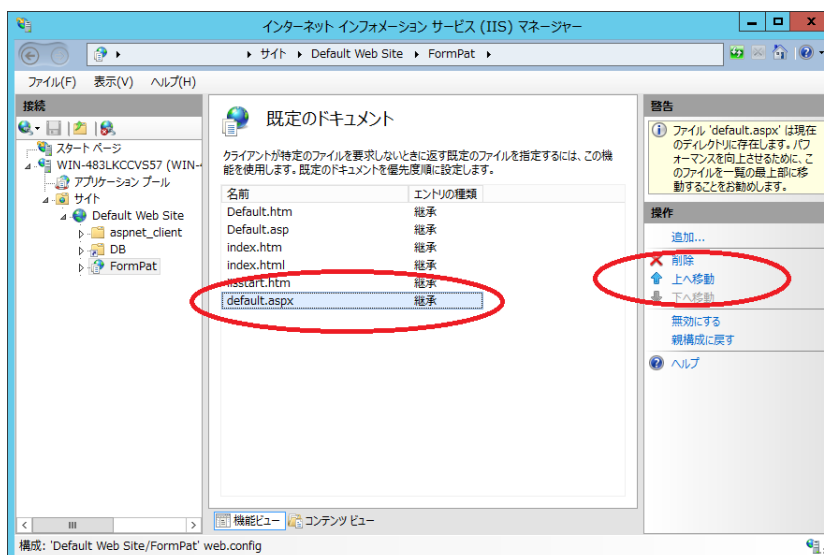
13. アプリケーションの追加では、[OK]をクリックします。



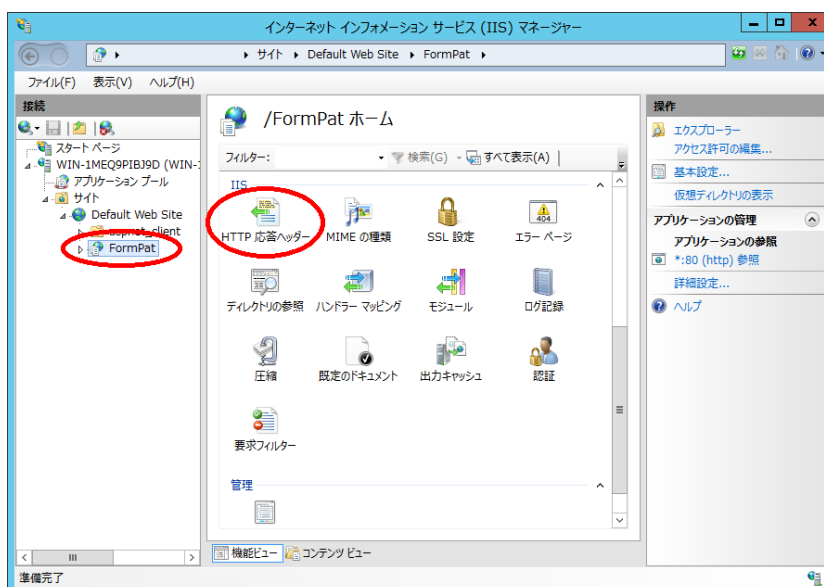
14. 左ペインの[FormPat]を選択し[/FormPat ホーム]の[既定のドキュメント]をダブルクリックします。



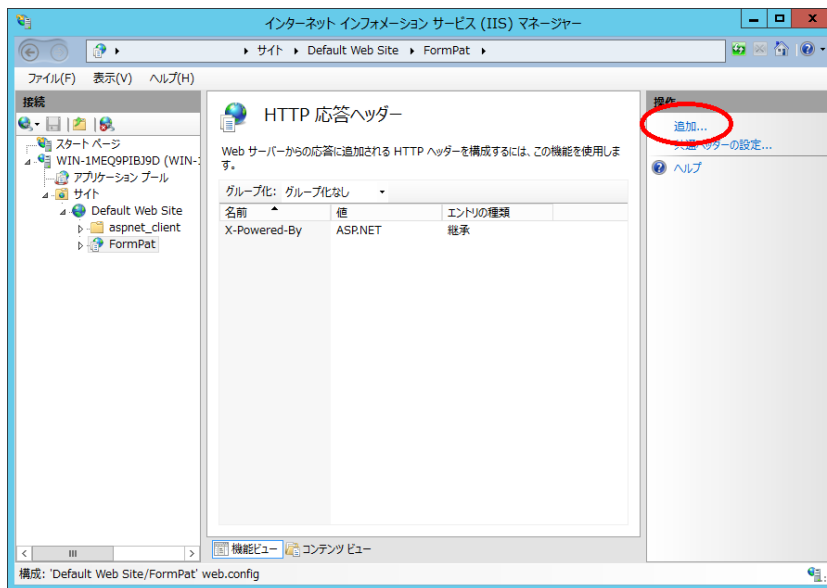
15. [既定のドキュメント]の[default.aspx]を選択し、[上へ移動]をクリックして[default.aspx]を最上段に移動します。（もし default.aspx が存在しない場合、[追加]をクリックして default.aspx を追加して最上段に移動します。）



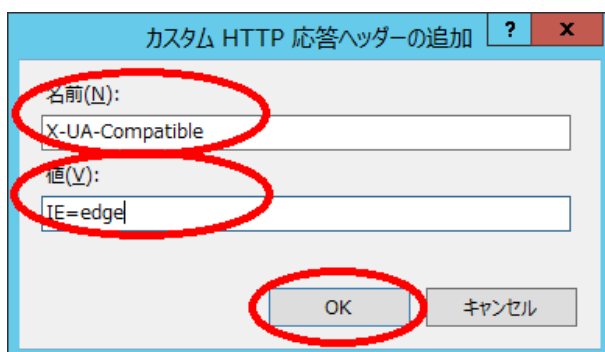
16. イン트라ネットで IE を使用されるとき以下の設定を行います。
- IE の既定ではイントラネットサイトを表示すると互換表示になります。
- FormPat は互換表示では正常に動作しませんので互換表示を無効にします。
- [/FormPat ホーム]に戻り[HTTP 応答ヘッダー]をダブルクリックします。



17. [HTTP 応答ヘッダー]の[追加...]をクリックします。



18. カスタム HTTP 応答ヘッダーの追加では、名前に X-UA-Compatible 、値に IE=edge と入力し、[OK]をクリックします。[HTTP 応答ヘッダー]に入力値が追加されます。



19. [インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー]を終了します。

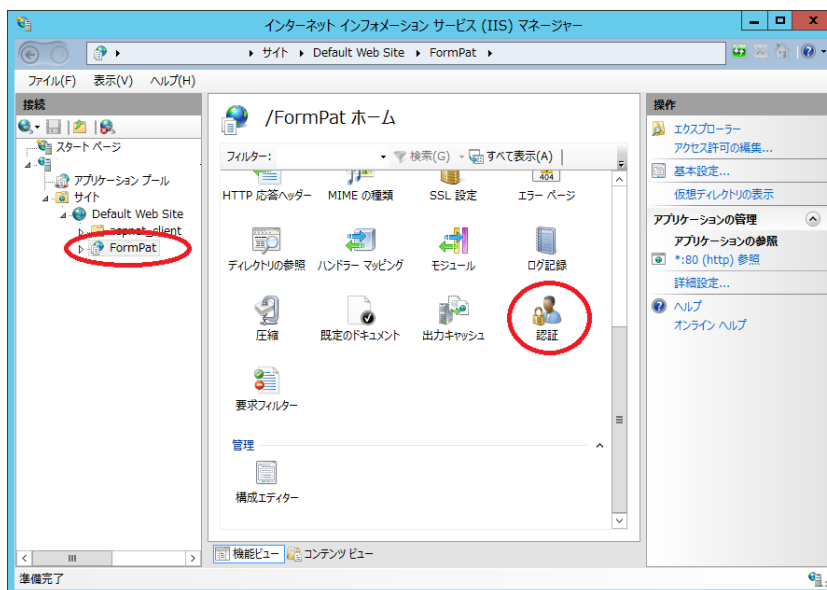
統合 Windows 認証について

本章では、Windows Server 2012 R2 および Windows Server 2012 について記述します。他の OS については「FormPat 3.0 環境設定ガイド（補足）」を参照してください。

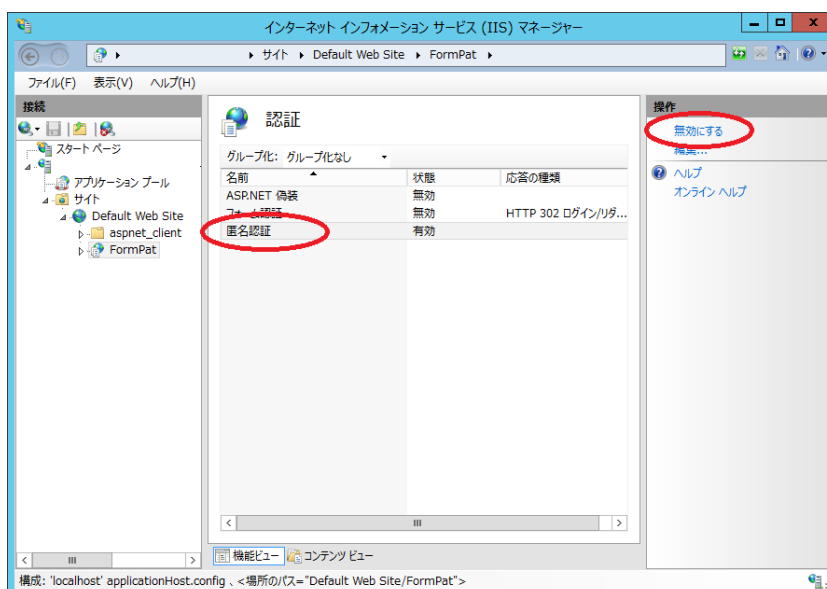
FormPat のログイン認証に加えて、統合 Windows 認証に対応しています。

統合 Windows 認証を利用することで、Windows へログインしていると FormPat へのログインを省くシングルサインオンが可能になります。

1. [インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー]を起動します。
2. インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャーでは、左ペインのツリーを展開、[FormPat] を選択し、[認証]をダブルクリックします。



3. [認証]ページでは、[匿名認証]→[無効にする]を選択します。



4. [インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー]を終了します。
5. [メモ帳]を起動します。

メモ帳では、メニューから[ファイル]→[開く]を選択し、control.config を開きます。

デフォルトのファイルの場所は C:¥FormPat¥control.config です。

6. control.xml から下記の記述を検索します。

```
<!-- 統合 Windows 認証(0:無, 1:有) -->
```

```
<authentication>0</authentication>
```

0 を 1 に変更します。

7. メモ帳のメニューから[ファイル]→[上書き保存]を選択します。
8. [メモ帳]を終了します。

統合 Windows 認証が有効な場合、ログインは以下の通りとなります。

- ・ドメインアカウントを保有しているユーザー

1. http://(コンピューター名等)/FormPat/ にアクセスします。
2. 統合 Windows 認証が正常に終了した場合はメニューページが表示されます。
統合 Windows 認証が失敗した場合はログインページが表示されます。
- 3.

- ・ドメインアカウントを保有していないユーザー

1. http://(コンピューター名等)/FormPat/?na=1 にアクセスします。
?na=1 は統合 Windows 認証が有効な場合でも、統合 Windows 認証を行わずにログインページを表示するためのパラメータです。ドメインアカウントを保有していないユーザーが混在する場合、保有していないユーザーからのアクセスにはパラメータを付加したアドレスを使用してください。
2. 統合 Windows 認証ダイアログが表示されます。
事前に作成しておいた Windows の汎用的なアカウントでログインします。
3. ログインページが表示されます。FormPat のユーザーID でログインします。